

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 2年 8月19日
14時46分05秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001352010 土木課用地係
事務事業 02769 道路等整備促進事務

所属長名 若林 康成
担当者 牧野 健児
電話番号 0566-71-2238

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	004	6都市基盤（交通）		
施策の方針	002	幹線道路の整備促進		
事務事業	002	道路等整備促進事務		
事業期間	昭和56年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・道路建設促進事務 ・河川改修促進事務 ・計画道路整備促進事務			

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	道路建設・河川整備を促進するため、関係機関が実施する要望会への参加及び道路建設・河川整備を促進する同盟会、協議会等に関する事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	7,801	7,914	8,100
事業費	1,816	1,929	2,115
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,816	1,929	2,115
人件費計	5,985	5,985	5,985
正規（人）	0.95	0.95	0.95
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	道路や河川整備の促進を目的とする同盟会等に参加するとともに、都市基盤整備事業促進要望会・矢作川改修促進意見交換会等を開催し、国・県に対し事業促進を要望しました。	道路や河川整備の促進を目的とする同盟会等に参加するとともに、都市基盤整備事業促進要望会・矢作川改修促進意見交換会等を開催し、国・県に対し事業促進を要望しました。	道路や河川整備の促進を目的とする同盟会等に参加するとともに、都市基盤整備事業促進要望会・矢作川改修促進意見交換会等を開催し、国・県に対し事業促進を要望します。

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和2年8月19日
14時46分05秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 2次評価
所属 0001352010 土木課用地係
事務事業 02769 道路等整備促進事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の取組であり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	道路等整備の早期実現により、市民の利便性の向上に寄与します。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	資料の作成部数を精査する等、費用の削減に努めます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	効率的な要望活動の実施に努めます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 道路・河川整備の促進のため、継続して国や県の関係機関に対し要望活動を実施します。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 2年 8月25日
19時05分42秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02770 橋りょう維持管理事業

所属長名 若林 康成
担当者 内藤 俊史
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	004	6都市基盤（交通）		
施策の方針	004	安全、安心、快適な道路交通環境の実現		
事務事業	002	橋りょう維持管理事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	道路法施行規則			
備考				

【事業分析】

対象	道路施設の橋りょうが
目的	道路橋の老朽化への予防的な修繕及び計画的な架け替えにより、係る費用の縮減と道路橋利用者への安全性と信頼性を確保します。
手段	道路橋の定期的な点検と予防的な補修を実施します。
事務内容	点検業務、補修設計・工事

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	36,489	29,002	81,558
事業費	34,914	25,159	78,660
国庫支出金	12,640	10,750	30,100
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	22,274	14,409	48,560
人件費計	1,575	3,843	2,898
正規（人）	0.25	0.61	0.46
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	橋りょう状況を的確に把握し、予防的な維持管理として橋りょうの点検、補修を実施	橋りょう状況を的確に把握し、予防的な維持管理として橋りょうの点検、補修を実施	橋りょう状況を的確に把握し、予防的な維持管理として橋りょうの点検、補修を実施

事務事業評価シート (2/2)

2頁
令和 2年 8月25日
19時05分42秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02770 橋りょう維持管理事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
橋の不良により通れなくなった橋数	橋	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
点検する橋数	橋	123.00	98.00	98.00
		119.00	98.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が管理する橋梁です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	道路橋としての安全性、信頼性の確保が求められています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を達成しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	予防的保全を行うことで事業費の削減になります。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	事業規模は適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	老朽化する道路橋の拡大に対応するため、予防的な修繕及び計画的な架け替えにより、これに係る費用の縮減を図りつつ、引き続き地域の道路網の安全性・信頼性を保つ必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 2年 8月25日
19時05分42秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02771 主要道路新設改良事業

所属長名 若林 康成
担当者 内藤 俊史
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	002 環境				
項目（施策）	004 6都市基盤（交通）				
施策の方針	002 幹線道路の整備促進				
事務事業	003 主要道路新設改良事業				
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト	○	地方創生	
根拠法令等	道路構造令				
備考					

【事業分析】

対象	交通体系として必要な幹線道路が
目的	交通の分散化による交通渋滞の緩和など、円滑な交通体系を構築し、道路利用者の利便性の向上を図ります。
手段	現況道路の拡幅や改良、新設道路の整備を実施します。
事務内容	道路改良の設計・用地買収・工事、道路新設の設計・用地買収・工事

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	344,352	602,131	1,030,116
事業費	313,230	559,858	996,285
国庫支出金	114,636	207,106	372,800
県支出金	0	0	23,680
地方債	63,592	145,300	320,000
その他	0	0	0
一般財源	135,002	207,452	279,805
人件費計	31,122	42,273	33,831
正規（人）	4.94	6.71	5.37
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	幹線道路の道路拡幅、歩車道分離、交差点改良の用地買収、設計、工事を実施	幹線道路の道路拡幅、歩車道分離、交差点改良の用地買収、設計、工事を実施	幹線道路の道路拡幅、歩車道分離、交差点改良の用地買収、設計、工事を実施

事務事業評価シート（2/2）

4頁
令和 2年 8月25日
19時05分42秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02771 主要道路新設改良事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
道路整備率（道路整備済延長／道路整備予定延長）	%	64.49 65.59	67.32 68.20	70.28 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が管理する道路です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民の利便性向上に必要な事業です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業に対する関係者の理解を得たうえで進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	事業規模は適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	交通の分散化、交通渋滞の緩和などの円滑な交通体系を確保し、引き続き道路利用者の利便性の向上を図る必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和2年8月25日
19時05分42秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02772 生活道路新設改良事業

所属長名 若林 康成
担当者 内藤 俊史
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	004	6都市基盤（交通）			
施策の方針	004	安全、安心、快適な道路交通環境の実現			
事務事業	003	生活道路新設改良事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	道路構造令				
備考					

【事業分析】

対象	地域の生活に密着した道路が
目的	地域の道路に関する町内会などからの要望を踏まえ、必要な道路機能を確保するための改善を図ります。
手段	現況道路の排水施設の改修や新設、道路幅員の拡幅や改良を実施します。
事務内容	道路側溝等の設計・工事、道路改良等の設計、用地買収、工事

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	1,010,013	629,642	350,097
事業費	984,624	618,428	329,370
国庫支出金	0	0	0
県支出金	71,572	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	330,436	0
一般財源	913,052	287,992	329,370
人件費計	25,389	11,214	20,727
正規（人）	4.03	1.78	3.29
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	生活道路の道路側溝等の新設、改良工事及び拡幅工事を実施	生活道路の道路側溝等の新設、改良工事及び拡幅工事を実施	生活道路の道路側溝等の新設、改良工事及び拡幅工事を実施

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02772 生活道路新設改良事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
側溝整備完了延長	km	4.50 4.80	4.50 4.90	4.50 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が管理する道路です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民から生活道路の改善が求められています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業に対する関係者の理解を得たうえで進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	事業規模は適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	町内会の土木事業要望に対応し、引き続き地域住民に密着した生活道路の環境改善を図る必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02773 無電柱化推進事業

所属長名 若林 康成
担当者 内藤 俊史
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	004	6都市基盤（交通）		
施策の方針	004	安全、安心、快適な道路交通環境の実現		
事務事業	004	無電柱化推進事業		
事業期間	平成29年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	電線共同溝の整備等に関する特別措置法			
備考				

【事業分析】

対象	主要駅周辺など多くの人が利用する歩行空間が
目的	良好な都市空間の創出、災害に強いライフラインの設置や通行者へのバリアフリー化に向けた整備を推進します。
手段	無電柱化に向けた検討や各占用者や沿線居住者との合意形成を図り、電線類の地中化などを実施します。
事務内容	無電柱化の検討業務・各占用者等との協議、電線類地中化の設計、占用者移設、工事

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	1,575	1,575	6,575
事業費	0	0	5,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	5,000
人件費計	1,575	1,575	1,575
正規（人）	0.25	0.25	0.25
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	検討結果の内部調整、各占用者との事前協議	既道路占用者等との調整会議実施、事業実施にむけての課題整理	事業実施にみけての課題整理 要望者を中心とした、沿線関係者との勉強会等の実施

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352020 土木課道路建設係
事務事業 02773 無電柱化推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
無電中化事業検討業務	m	700.00 700.00	700.00 700.00	700.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が指定整備する無電柱化です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	減災や景観向上が求められています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を達成しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	3
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業の効率化・事業費の削減についての検討が進んでいません。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣自治体においても進められている業務です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	災害に対する強化の促進、あわせて良好な都市空間の創出、バリアフリー化による歩行者・自転車の通行の安全を図るために、引き続き、関係者の理解と事業計画に対する合意形成を図りながら進めていく必要があります。また事業費の削減や、工期短縮方法を検討する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 2年 8月25日
19時06分45秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352030 土木課道路安全係
事務事業 02774 歩道整備事業

所属長名 若林 康成
担当者 柴田 浩志
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	003	5生活安全		
施策の方針	003	交通安全対策の実施		
事務事業	003	歩道整備事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	道路構造令			
備考				

【事業分析】

対象	交通弱者である歩行者や自転車利用者などが
目的	安全に通行できます。
手段	歩道の新設、拡幅、改良工事を実施します。
事務内容	歩道を整備し、安全対策を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	76,475	16,862	611
事業費	72,821	16,799	548
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	72,821	16,799	548
人件費計	3,654	63	63
正規（人）	0.58	0.01	0.01
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	歩道整備工事 用地購入 物件補償	歩道整備工事	歩道整備工事

事務事業評価シート (2/2)

2頁
令和 2年 8月25日
19時06分45秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352030 土木課道路安全係
事務事業 02774 歩道整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
事業化された歩道整備の進捗率（市道篠目池浦2号線ほか）	%	40.00 40.00	100.00 55.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	安全な歩道を整備することは安城市の責務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	町内会から要望書が提出されています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	進捗に遅れが生じたがR2年度完成する見込みです。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	用地買収を行わず現道内で整備することで事業費を削減してます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体も同様の事業を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	交通弱者である歩行者や自転車利用者などの安全を確保するため、引き続き歩道の新設、拡幅、改良を行う必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 2年 8月25日
19時06分45秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352030 土木課道路安全係
事務事業 02775 通学路整備事業

所属長名 若林 康成
担当者 柴田 浩志
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	003	5生活安全			
施策の方針	003	交通安全対策の実施			
事務事業	004	通学路整備事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	通学路を通行する児童生徒が
目的	安全に登下校ができます。
手段	学校教育課及び各町内会から提出される通学路整備要望に対応し、道路路肩のグリーンライン、側溝改修、歩道整備を実施します。
事務内容	通学路を整備し、安全対策を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	15,522	15,257	14,562
事業費	13,506	14,501	13,680
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	13,506	14,501	13,680
人件費計	2,016	756	882
正規（人）	0.32	0.12	0.14
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	赤色路面塗装 250㎡ 緑色ライン塗装 273m 側溝蓋設置延長 40m	赤色路面塗装 263㎡ 緑色ライン塗装 1576m 側溝蓋設置延長 150m	赤色路面塗装 100㎡ 緑色ライン塗装 900m

事務事業評価シート (2/2)

4 頁
令和 2年 8月25日
19時06分45秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352030 土木課道路安全係
事務事業 02775 通学路整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
安全対策が図れた通学路の整備箇所数	箇所	10.00 10.00	19.00 19.00	10.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	通学路を整備し児童生徒の安全を確保することは安城市の責務です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	町内会および小中学校からの要望に対応しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	予定どおり進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	グリーンラインを破線にすることで事業費を削減しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体も同様の事業を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	最近の通学路における事故報告を踏まえ、通学路における安全対策の強化が必要です。また、今後は経年劣化による維持修繕が発生することから、事業の拡充が不可欠です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 2年 8月25日
19時06分45秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352030 土木課道路安全係
事務事業 02776 交差点改良事業

所属長名 若林 康成
担当者 柴田 浩志
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	004	6都市基盤（交通）			
施策の方針	004	安全、安心、快適な道路交通環境の実現			
事務事業	005	交差点改良事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	道路構造令				
備考					

【事業分析】

対象	信号交差点に進入した車両が
目的	渋滞が無く、安全に通過できます。
手段	右折帯の設置や交差点形状の改良を実施します。
事務内容	交差点を改良し、交通渋滞の緩和及び安全対策を実施します。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	168,802	147,001	272,694
事業費	160,297	135,913	258,582
国庫支出金	26,377	30,444	73,200
県支出金	27,270	0	26,500
地方債	0	27,000	65,000
その他	0	0	0
一般財源	106,650	78,469	93,882
人件費計	8,505	11,088	14,112
正規（人）	1.35	1.76	2.24
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	交差点改良工事 用地購入 物件補償	交差点改良工事 用地購入 物件補償 用地測量 物件調査	交差点改良工事 用地購入 物件補償

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352030 土木課道路安全係
事務事業 02776 交差点改良事業

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業化された交差点改良の進捗率（根崎町北交差点）	%	75.00	100.00	0.00
		50.00	100.00	0.00
事業化された交差点改良の進捗率（福釜町猿町交差点）	%	43.20	100.00	100.00
		40.00	68.00	0.00
事業化された交差点改良の進捗率（今本町2丁目交差点）	%	0.00	26.00	100.00
		0.00	26.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	交差点を改良し渋滞解消や安全を確保することは安城市の責務です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	町内会からの要望書が提出されています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	福釜町猿町交差点は遅れが生じたがR2年度完成する見込みです。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	用地購入を極力抑える線形とし事業費を削減しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体も同様の事業を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	交差点における交通渋滞の緩和と安全対策を速やかに実施するため、事業を拡充する必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 2年 8月25日
19時07分47秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02777 橋りょう新設改良事業

所属長名 若林 康成
担当者 神谷 征裕
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	001	1.1 防災・減災		
施策の方針	006	雨水対策の推進		
事務事業	003	橋りょう新設改良事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	河川に架かる橋りょうが
目的	利用者の安全性と快適性の向上を図ります。
手段	河川改良事業と同調し、橋りょうの改築・拡幅を行います。
事務内容	県主体工事の負担金手続き事務 市主体工事の設計、積算及び監督

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	536,440	163,768	2,456
事業費	516,469	150,664	2,330
国庫支出金	186,889	31,004	0
県支出金	105,117	34,290	1,500
地方債	136,214	27,163	0
その他	0	0	0
一般財源	88,249	58,207	830
人件費計	19,971	13,104	126
正規（人）	3.17	2.08	0.02
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	下懸橋取付道路工及び 西海橋上部工、取付道 路工の工事を実施	下懸橋仮橋撤去工及び 西海橋仮橋撤去工の工 事を実施	長田橋迂回道路の借地

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和 2年 8月25日
19時07分47秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02777 橋りょう新設改良事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
改築が完了する橋りょう数	橋	2.00 2.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	管理者として実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	安全、安心、快適な道路交通環境を実現する必要があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	概ね順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	県の河川改修と同調して実施しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	河川改良と同調する事業であるが、優先順位や市道との取付方法を考慮し、計画的に整備を実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 2年 8月25日
19時07分47秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02778 河川維持管理事業

所属長名 若林 康成
担当者 神谷 征裕
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保		
事務事業	007	河川維持管理事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	地域の生活に密着した河川や排水路が
目的	適切に維持管理されます。
手段	準用河川、調整池及び排水路の草刈りや浚渫等の維持管理業務を行います。 町内会の要望に基づき排水路整備を行います。
事務内容	工事の設計、積算及び監督

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	125,011	157,359	171,189
事業費	116,695	141,798	161,865
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	116,695	141,798	161,865
人件費計	8,316	15,561	9,324
正規（人）	1.32	2.47	1.48
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	河川、排水路等の草刈り、浚渫及び修繕を実施	河川、排水路等の草刈り、浚渫及び修繕を実施	河川、排水路等の草刈り、浚渫及び修繕を実施

事務事業評価シート (2/2)

4 頁
令和 2年 8月25日
19時07分47秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02778 河川維持管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
排水路整備に関する町内会の満足率	%	70.00 58.00	70.00 57.00	70.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	管理者として実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	要望件数131件		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	入札不調により年度内に工事が実施できませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	係内で工法検討会議を開催し事務改善を行いました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正かつ効率的に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 地元町内会との協働による維持管理活動を推進します。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和2年8月25日
19時07分47秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02779 河川新設改良事業

所属長名 若林 康成
担当者 神谷 征裕
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	045	河川新設改良事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	市内を流れる河川や排水路が
目的	流域住民の安全性と快適性の向上を図ります。
手段	浸水被害解消のため河川及び排水路の整備を行います。 5年確率の計画規模で整備します。 雨水マスタープランに基づき、貯めたり、浸透させたりする施設を整備して「より災害に強いまちづくり」を目指します。
事務内容	工事の設計、積算及び監督 町内会等との協働による防災意識の普及活動

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	27,763	75,479	457,607
事業費	21,148	60,926	433,100
国庫支出金	5,223	24,135	183,500
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	165,000
その他	0	0	25,000
一般財源	15,925	36,791	59,600
人件費計	6,615	14,553	24,507
正規（人）	1.05	2.31	3.89
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	雨水貯留浸透施設の普及促進 水田貯留事業の推進	第2次雨水マスタープラン策定 宮前ポンプ場整備工事の実施 水田貯留事業の推進 住民手づくりハザードマップ作成 大雨行動訓練実施	第2次雨水マスタープラン策定 宮前ポンプ場整備工事の実施 水田貯留事業の推進 住民手づくりハザードマップ作成 大雨行動訓練実施

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02779 河川新設改良事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
5年確率の降雨量を流すことができる流域面積	ha	2.00 11.60	2.00 3.00	2.00 0.00
家屋床上浸水戸数	戸	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	管理者として実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	毎年浸水被害が発生しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	概ね順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業の効率化、事業費の削減に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	雨水マスタープランに基づき計画的に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	5年に1回程度降る大雨に対しても浸水が発生しないような雨水対策施設の整備を推進します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和 2年 8月25日
19時07分47秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02780 調整池整備事業

所属長名 若林 康成
担当者 神谷 征裕
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	001	1.1 防災・減災			
施策の方針	006	雨水対策の推進			
事務事業	004	調整池整備事業			
事業期間	平成14年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	河川流域の市民が
目的	調整池が整備されることで浸水被害を受けにくくなります。
手段	平成12年度の東海豪雨をはじめとする集中豪雨や市街化の進展による雨水の流出増により、浸水被害が多発し緊急に浸水対策を施す必要性が生じてきました。流域全体の河川流下能力不足を解消するため計画的に調整池を設置し浸水被害の軽減を図ります。
事務内容	工事、委託の設計、積算及び監督

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	41,673	0	0
事業費	39,531	0	0
国庫支出金	19,766	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	19,765	0	0
人件費計	2,142	0	0
正規（人）	0.34	0.00	0.00
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	錦町小調整池詳細設計を実施		

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02780 調整池整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
調整池・遊水地容量	m ³	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
調整池設計	式	1.00	0.00	0.00
		1.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	浸水対策として実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	毎年浸水被害が発生しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	総合計画成果指標を達成していません。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効果の検証をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	下水道事業認可を受けて実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 整備済の調整池の効果を検証するとともに水田貯留を推進します。
1次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

9頁
令和 2年 8月25日
19時07分47秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02781 西町雨水幹線新設改良事業

所属長名 若林 康成
担当者 神谷 征裕
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	001	1.1 防災・減災		
施策の方針	006	雨水対策の推進		
事務事業	005	西町雨水幹線新設改良事業		
事業期間	平成29年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	西町排水区内の市民が
目的	雨水幹線を整備することで浸水被害を受けにくくなります。
手段	浸水被害解消のため下水道の整備を行います。 5年確率の計画規模で整備します。
事務内容	工事の設計、積算及び監督

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	101,857	24,281	102,544
事業費	100,282	22,454	97,000
国庫支出金	50,141	11,227	48,500
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	43,000
その他	0	0	0
一般財源	50,141	11,227	5,500
人件費計	1,575	1,827	5,544
正規（人）	0.25	0.29	0.88
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	西町雨水幹線整備工事の実施	西町雨水幹線整備工事の実施	西町雨水幹線整備工事の実施

事務事業評価シート (2/2)

10頁
令和 2年 8月25日
19時07分47秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02781 西町雨水幹線新設改良事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
西町雨水幹線の整備延長	m	146.50 26.00	12.00 10.40	84.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	管理者として実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	区画整理事業を推進するために必要があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	概ね順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	区画整理事業と同調して実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	下水道事業認可を受けて実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	桜井駅周辺土地区画整理区域内の雨水を円滑に排除するため、区画整理事業と同調し計画的に整備を推進します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
令和 2年 8月25日
19時07分48秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02782 雨水貯留浸透施設設置事業

所属長名 若林 康成
担当者 神谷 征裕
電話番号 0566-71-2239

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	001	1.1 防災・減災		
施策の方針	006	雨水対策の推進		
事務事業	006	雨水貯留浸透施設設置事業		
事業期間	平成15年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市雨水貯留浸透施設設置補助金交付要綱			
備考				

【事業分析】

対象	雨水貯留浸透施設を設置した市民が
目的	浸水対策に貢献します。
手段	雨水の流出抑制及び雨水の地下浸透を推進し、雨水の有効利用及び良好な水環境を図り、もって地球環境の保全に資するため雨水貯留施設及び浸透施設を設置する者に対し補助金を交付します。管理協定第5条において当該施設の7年以上の保全が定められており、設置後4年目及び7年目の補助者に対してアンケート調査を行います。
事務内容	雨水貯留の意義付けのPR 補助制度のPR 申請手続き事務

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	390	188	563
事業費	327	125	500
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	327	125	500
人件費計	63	63	63
正規（人）	0.01	0.01	0.01
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	雨水貯留浸透施設の普及促進	雨水貯留浸透施設の普及促進	雨水貯留浸透施設の普及促進

事務事業評価シート (2/2)

12頁
令和2年8月25日
19時07分48秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0001352040 土木課河川係
事務事業 02782 雨水貯留浸透施設設置事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
雨水貯留浸透施設設置補助件数	件	20.00	20.00	20.00
		14.00	6.00	0.00
設置者の活用率	%	100.00	100.00	100.00
		98.00	97.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	雨水対策を市民、事業者と協働して推進する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	施設整備には余計に費用が必要となります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	制度のPRが不足しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	各種イベント等で制度のPRを実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体と比較して適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	雨水対策は、市民・事業者・行政が協働して実施する必要があり、市民や事業者に対する費用面のバックアップにより普及促進を図ります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。